

- ・林野庁で設置しているオガサワラカワラヒワモニタリング用カメラ 4 台においては、上記の 2023 年 10 月に 1 ヶ所でネズミが撮影されたが、以降は 2025 年 7 月 4 日までネズミは撮影されていない。

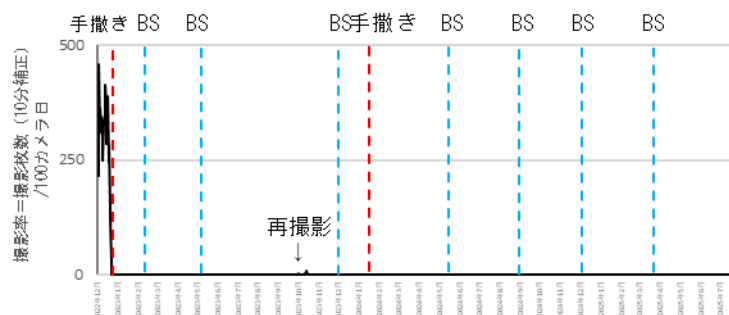


図 2 平島のネズミ撮影率 (2022/12/3～2025/7/21)

3) 丸島・二子島のネズミモニタリング体制

- ・丸島・二子島では、小笠原村が 2023 年 11 月 1 日に二子島 3 台、11 月 2 日に丸島 2 台のカメラを設置した (図 3)。
- ・2024 年 5 月 14 日に二子島、5 月 15 日に丸島で設置していたカメラを自動画像送信機能付きカメラ (以下、S I Mカメラ) に交換し、遠隔モニタリングを開始した。2024 年 9 月 4 日の点検時、カメラ前へのネズミの誘引を長期間持続するため、カメラ前に人工水場を設置した。
- ・2025 年 4 月より環境省にモニタリング事業を移管し、S I Mカメラによるモニタリングを継続している。

4) 丸島・二子島のネズミ撮影状況

- ・両島とも 2023 年 11 月の散布 5 日後から 2025 年 7 月 31 日までネズミは撮影されていない (図 4)。ただし、二子島では 2024 年 11 月 16 日～2025 年 1 月 15 日の期間、カメラの不具合により 1 台のみ稼働となっており、同様に丸島でも 2024 年 11 月 22 日～2025 年 1 月 15 日、および 2025 年 5 月 10 日～2025 年 7 月 9 日の期間はカメラの不具合により 1 台のみの稼働となっていた点に注意が必要である。

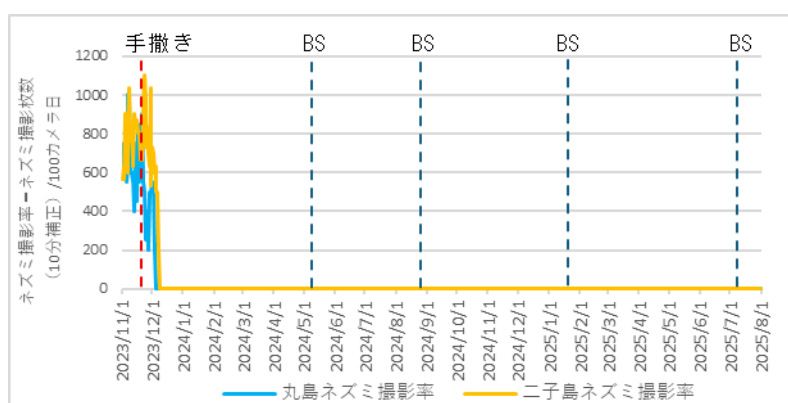


図 4 丸島・二子島のネズミ撮影率 (2023/11/1～2025/7/31)

3. 2025 年度の対策状況と予定

- ・平島では、7 月 21 日にカメラデータの回収・分析を実施済みである。今後の予定として 2025 年 9 月、12 月にカメラデータを回収し、ネズミ撮影状況の分析を実施予定である (表 2)。
- ・丸島、二子島では、7 月 9 日に S I Mカメラの点検および B S への殺鼠剤充填を実施済みである (B S への殺鼠剤充填は Islandscares 自主事業による)。今後の予定としては、2025 年 12 月に S I Mカメラの点検を実施

予定である（表 2）。

- ・ネズミの生息状況をリアルタイムで監視するため、SIMカメラ（平島 3 台、丸島 2 台、二子島 2 台）を利用して、ネズミの撮影有無を把握する。
- ・現在、平島は母島列島のオガサワラカワラヒワ個体群維持に最も重要な生息地となっていることから、ネズミが再確認された場合には緊急的な対策を要する。ネズミが再確認された場合は、BSによる散布や部分的な手撒き等の対策を速やかに実施できるよう調整を進めている。

表 2 今後のモニタリング予定

内容	2025年										2026年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
モニタリング													
平島ネズミ													
丸島・二子島ネズミ													